

## 本邦古代保育法の一斑

## 下村三四吉

兩三日前中村先生が私に「フレトベル」會の席上で何か話をするやうにとのことでありました。

併し。私は、保育の事につきましては、門外漢でありまして、格別御参考になるやうな話も出来ませんので、一應は御断りを致しましたれど、何でもよいからといふことでありましたから、今日こゝに罷り出しました次第です。

私は古い時代のことを調べる學問を致して居りますゆゑ、やはりそれに關係のありますことをお話しして責を塞がうと思ひます。それで、こゝに掲げてある題には、本邦古代の保育法とありますけれど、題があまり大き過ぎて、内容は大層少ないのであります。最も古代と申しましては、誠に茫

乎と致して居るもので、昨日は今日の昔で。昨年  
は本年の昔でございませう、過ぎ去りたる時は昔し  
でございます、十年前百年前、千年前……等はも  
とより昔しです。もつと極遠い場合には、昔し昔  
しの大昔しなどと申しますが、どれ程の數になる  
か、極不明であります。このやうに古代といふこ  
とは不定なのですから、若しこゝの古代の保育法  
を過去の保育法ととりましたらば殆ど際限のな  
い話で、且それ丈の調べも致してありませう、又  
僅な時間で話すことも出来ませぬから、茲に我國  
の古代と申しますのは、支那の文化の影響をそ  
れ程受けなかつた迄の處で、日本の歴史の方で通  
例上古と申して居ります時代と定め、その時代  
の事柄をお話する積りであります。それも、事件  
の詳しい所は却々調べてありませぬから、どうぞ

その御積りで御聽きを願いたい。

前に申しました我が國の上古には、國民がものを書き記すといふことを知らない、時代がありました。最も上古の凡そ半は以後は、支那の文字を借りて種々の事柄を記載するといふことが起つて來ました。先づその以前には、言葉といふものは發達して居りましたれど、之を書き顯はして後世に止めるといふとはなかつたのであります。それですから。或る事柄が後世に傳はるのには、口々に語り傳へたのであります、語り傳へて行くのはどうしても、詳しくは、傳へて居りませぬ、また語り傳へて行く間に種々に變化しまして、それが記録される迄には、もとの姿よりも大層變つたものになるのであります。従つて、今日に残つて居る記録をもととして斯く昔しのことを調べやう

とするのは、誠に困難なることであります。殊にその國家の大事件でありますとか、或はそれ程でなくとも、人の感じの深かつたといふやうなことは、長い間語り傳へられますが、幼兒の保育に關係することは、日常起つて居ります家庭の内部の事柄でありまして、格別變つたこともありませんから、語り傳へるといふことは極めて少いのであります、普通の歴史の事實でさへ、古代のは極めて材料が乏しいので困りますが、保育などといふことに就きましては調べて行きまするに別してむづかしいのであります。けれども、その乏しい中にも幾らか保育に關係したことが顯はれて居るので、それらを拾ひ出して、綜合して行けば、少しは分りますのです。但し今日の私の話しますことは、ホンの一夜作で一方向充分に調べが届いて

居りませぬから、其御積りで御承知を願いたいの  
 であります。

先づ始めには、今日保育とか養育とかいふこと  
 は、我國の古い言葉では如何に申して居つたかと  
 いふことを調べてみませう。今日では普通に「そ  
 だてる」と申して居りまして、それには身心の兩  
 方の育て方を含まれてをるとかもひますが、その  
 そだてるといふことを我國の古い言葉では「ひた  
 す」と申して居りますこのことは日を追々にた  
 らして行く、即ち段々日の經つに従つて生ひ立た  
 せて行く、斯ういふ意味に解釋させて居ります。  
 今日では産婦とか病人とかが追々快復することを  
 「ひだつ」と申してをります、そしてそれに漢字を  
 當て、肥といふ字に立つといふ字を書きまして、  
 肥立と書いて居りますけれどもやはりこの「ひ

だつても日が段々と經つその日が經つに従て、元氣  
 が附いて來る、よくなるといふ意味で即ち昔の日  
 をたらずといふ譯と同じことで、肥立の字を當て  
 るのはよく當てはまらぬやうに考へられます

(つづく)

„Die Menschheit gelven uns Vater und  
 Mutter, die Menschlichkeit aber gibt  
 uns nur die Erziehung.“ — Weber.

人性は吾人之を父母に得たり、併れども人道は獨り  
 之を教育に歸せん。かな  
 エーベル